


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 <b>都立多摩桜の丘学園</b>		肢体不自由・知的障害	<b>通学区域</b> 多摩市(全)、稲城市(全)、八王子市(一部)
	<b>「共生と貢献」の学校づくり</b>			<b>進路実績</b> 肢体不自由教育部門(福祉就労:100%) 知的障害教育部門(企業就労:40%、福祉就労:60%)
基本情報	所在地	〒206-0022 多摩市聖ヶ丘一丁目17番1	電話番号 042-374-8111	<b>本 教 育 課 程 の 特 徴</b> ① 「笑顔満開！ 花と緑の桜の丘」をテーマとした学校づくり ② 障害者スポーツを取り入れた体育的活動の充実 ③ 障害のある児童・生徒の芸術教育(図画工作、美術教育)の充実 ④ 我が国の伝統・文化理解教育の推進 ⑤ 地域に貢献する学習活動の推進(貢献、活用、共同、発信)
	アクセス	(1) 京王線・小田急線永山駅、聖ヶ丘団地、聖蹟桜ヶ丘駅行きバス桜ヶ丘公園西口下車徒歩1分 (2) 京王線聖蹟桜ヶ丘駅、聖ヶ丘団地経由永山駅行きバス桜ヶ丘公園西口下車徒歩1分 (3) 京王線聖蹟桜ヶ丘駅下車、聖ヶ丘病院前経由永山駅行きバスひじり坂下車徒歩6分		
設置学部	肢体不自由教育部門:小学部、中学部、高等部、島田分教室、訪問学級 知的障害教育部門:小学部、中学部、高等部			
幼児・児童生徒数	総計375名(肢部門82名:小学部30名、中学部17名、高等部24名、分教室11名) (知部門293名:小学部120名、中学部64名、高等部109名)			
学級数	総計84学級(肢部門28学級:小学部9、中学部6、高等部8、分教室5) (知部門56学級:小学部26、中学部13、高等部17)			
報	スクールバス	13台(大型8台、中型5台)		<b>副籍実施状況</b> 実施率:25.0%
	その他			<b>学校評価</b> 回収率:93.0%。保護者の①教育活動への満足度:96.5%、②教育的ニーズに応じた取組への満足度:92.2%、③願いや相談への対応に関する満足度:93.8%、④個別指導計画、通知表の表記への満足度:94.8%など、概ね良好な評価である
				<b>ホームページ</b> <a href="http://www.tama-sh.metro.tokyo.jp/site/zen/">http://www.tama-sh.metro.tokyo.jp/site/zen/</a>

目指す学校 **子供一人一人を「守り」、「育て」、「伸ばす」学校**  
 ◆ 教職員の高い危機管理意識が、「子供の命を守る」 ◆ 教職員の高いモラルが、「子供の心を育てる」 ◆ 教職員の高い専門性が、「子供の可能性を伸ばす」

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	<b>安全・安心な学校づくり(「事故0」)</b> ・いじめや体罰の根絶に向けた人権尊重教育の推進 ・安全かつ確実な医療的ケア及び摂食指導等の実施 ・負傷事故等の防止に向けた「安全配慮義務」の徹底 ・危機管理マニュアルの充実 ・防災体制の強化(宿泊防災訓練実施)	・いじめ「0」、体罰「0」を達成。児童・生徒の健全育成を推進するために、年間3回の「ふれあい月間」の充実を図った。地域と連携した「あいさつ運動」や、「読み聞かせ」を中心とした読書活動の充実(年間20回)を行った。 ・教員の「安全配慮義務」の徹底に努め、校内における軽微な事故の減少に努めた。 ・「安全・安心な学校づくり」に関する保護者満足度は、94%である。 ・地域と連携した宿泊防災訓練を実施し、地域住民の声を反映させながら、地域防災の拠点機能の整備に努めた。	
目標②	<b>社会に関かれた教育課程の実現</b> ・貢献、活用、共同、発信をキーワードとした教育活動の充実 ・高齢者等の買い物支援活動「さくら運送」(28回) ・地域のコミュニティーセンターでの製菓販売活動(10回以上) ・地域の小学校等における清掃活動(10回以上) ・地域への「花のデリバリー」活動(25回)	・作業学習の授業改善(工程分析表の作成、補助具の工夫・開発等)による生産性の向上(売上高の向上) ・生活単元学習における新たな単元開発(年間指導計画、単元指導計画の改善)、「おもしろ実践Book」の作成・編集 ・小学部から高等部までの一貫性のあるキャリア教育の基本的考え方の統一(R2,2,7:公開研究協議会実施) ・「地域とのつながりを大切にした教育活動」(全180回を実施) ・学校間交流や多摩市教育委員会との連携による障害者スポーツ(ボッチャ)の普及啓発	
目標③	<b>特別支援教育のセンター的機能の強化と経営機能の充実</b> ・障害者スポーツを通じた小・中学校等との交流の実施 ・多摩市教育委員会と連携したボッチャの普及啓発 ・直接交流の実施率向上による副籍制度の充実 ・小、中、高校の校内体制整備を支援する相談活動の充実 ・地域支援便りの発行、学校HPの充実による支援情報の提供	・地域の小学校及び中学校との学校間交流:20回を実施。副籍制度の利用率:25%。 ・多摩市教育委員会との連携によるボッチャの普及啓発講習会:5回を実施。 ・多摩市、稲城市、八王子市の就学支援委員会への参加・協力。学校見学、体験入学の機会の拡充。 ・学校ホームページの充実。学校の情報発信への保護者満足度:98.3%。 ・校務分掌の業務の見直しによる「一人一分掌化」の実現。教職員のワークライフバランスの推進。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	教員一人一回の授業研究の実施	150	179	162	162	160	160	150	150			
目標②	高等部生徒の企業就労率	30%	35%	30%	30%	38%	41%	35%	35%			
目標③	副籍制度を利用した交流実施率	40%	20%	25%	25%	25%	25%	30%	30%			